

令和8年度 稲積小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27512

「学ぶ力」	
成果	課題
◇学習などについてのアンケートから「真面目で落ち着いた学習態度」を身に付けている子が多いという実態がある。 ◇与えられた課題に一生懸命に取り組む子供が多い。 ◇全国学力・学習状況調査の児童質問の結果から、日常的な ICT の活用が進んでいることがわかる。	◇学習などのアンケートから「意欲や表現力の個人差が大きい」ことが挙げられる。 ◇全国学力・学習状況調査の児童質問の結果から、「他者意識の弱さ」、「自分で計画を立てる」、「自分で考える」などが課題である。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇年2回本校で実施している児童アンケートの相互承認に関わる項目「自分には良いところがあると思う」は、肯定的意見を過去数年間高い数値で維持している。また、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦できる」も肯定的意見が多い。本校職員アンケート「教育活動において即時評価ができた」の項目も肯定的意見が多く、教師の即時評価が子どもの承認感度を高めたと考える。授業では小交流・全体交流に重点を置いて研究を進め、協働的な学びの場を増やし相互承認の感度を高めてきている。令和8年度は異学年活動を充実させ、他者理解や社会性の向上を図る。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

話す力・聴く力・共感できる能力・自分の考えをもとに友達と協力して考えを深める力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	(1) 研究主題「主体性を発揮する子ども」の実現 「自己決定の場を創出する授業の構築」 ⇒ 自己決定を創出する教材化・単元構成(子どもが主体的に追究できる教材化) ⇒ 自己決定につながる教師の関わり(声かけ・板書・ICT・問いの吟味・協働のたせ方・振り返り) (2) 全員授業公開(実践を通じて自己決定の場を創出)・研修の充実(教員間スキルの交流・向上、教員間相互承認の向上)・主体的な学びをあらゆる機会に発揮するため家庭学習へ移行・係活動・委員会活動における創造的な活動と振り返りの場の設定	① さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく自主的な活動の充実 ◇GoogleForm で児童アンケートの実施(年2回) ◇こころのシートの実施(記述式、全員との全員面談) ② PTA「いなづみナツノユメ」・「いなづみ雪あかり」の実施 ◇スクールゾーン実行委員会の実施 ◇学校評価委員会の実施
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
◇主体的な学びをよりよく進めるための ICT の効果的な活用法の交流・追究を継続する。タブレット端末を活用した自分の意見の可視化・共有、GoogleForm による児童アンケートの実施(年2回)など、ICT を学びのツールとして日常的に活用する。		

<本プログラムの実行に向けて>

